

平成 19 年度第 2 回調査・研究部議事録
日 時：平成 19 年 7 月 20 日(金) 14：00～17：00
場 所：地盤工学会 JGS 会館 大会議室
出席者：善部長ほか 24 名

【審議事項】

- . 前回 (H19/4/19 開催) 議事録の確認
確認した。
- . 部会・委員会関係
 1. 平成 19 年度調査・研究部会体制
部会の体制を確認した。
 - . 全体関係
 1. 部会内の財務および財務担当理事の設置
善部長より、資料 19-2-1 に基づき説明・問いかけがあり、資料の中で挙げられた課題を今後検討していくこととした。また、性格の異なる委員会の整理を会長より依頼されていることが紹介された。
 2. 関連学会対応委員会の異動について
善部長より、現在のところ総務企画部が担当する 2 つの対外委員会、岩盤工学委員会(「国際岩の力学学会」関係)およびジオシンセティックス工学委員会(「国際ジオシンセティックス学会日本支部」関係)を当部会の担当として受け入れるかどうか検討することになった経緯の説明があった。基本的に受け入れる方向で考えるが、両委員会の議事録をみて来年度予算編成までに最終決定する。
 3. 緊急委員会(「盛土の耐震設計に関する研究委員会(仮題)」委員長候補：安田進氏)の設置について
善部長より、標記について説明があり、審議の結果、これを承認することとした。
 4. 前部長からの引継事項について
河邑前部長より、資料 19-2-2 に基づき説明があり、種々意見を交換した。以下のような意見があった。(1)企画委員会については各機関と学会との関係を検討してはどうか。(2)地盤工学ジャーナルの編集において、地盤工学シンポジウム開催を意識してもらえるように、会誌部へ働きかけてはどうか。(3)技術者交流特別セッションについては、先方との継続的交流を図れるように WG で検討してほしい。
 5. 調査・研究部の年間活動報告について
事務局で表を作り、今後の大まかな予定について部員に問い合わせることとした。
- . 研究統括委員会関係
 1. 平成 19 年度新設委員会委員の構成
資料 19-2-4～6 の通り、災害記録普及研究委員会、高炉水砕スラグの地盤工学的有効利用促進に関する研究委員会、レーザースキャナによる斜面地形情報取得技術の高度化とその利活用に関する研究委員会、以上 3 つの新設研究委員会の構成を承認した。
 2. 横浜環状北線の地盤変動監視に関する調査委員会(受託)の委員交代について
三木博史委員(三木地盤環境工学研究所)が見波潔氏((独)土木研究所)に交代することを承認した。
 3. 表層地盤情報データベース連携に関する研究委員会(受託)の委員追加について
大井昌弘氏((独)防災化学技術研究所防災システム研究センター)ならびに藤原広行氏((独)防災化学技術研究所防災システム研究センター)を委員に追加することを承認した。
 4. 地山補強土工法の適用・評価に関する研究委員会の委員追加について
竹本将氏((株)高速道路総合技術研究所)を委員に追加することを承認した。
 5. 平成 20 年度研究テーマの公募について
中澤委員会担当幹事より、資料 19-2-7 に基づいて提案があり、この公募を行うこととした。なお、支部主催研究委員会ならびに本部主催研究委員会の魅力を引き出す方法について、引き続き考えていくこととした。
- . 行事情報委員会関係
 1. 研究発表会
 - 1) 第 42 回地盤工学研究発表会(名古屋大会：19/7/4(水)～6(金) 名古屋国際会議場)
資料 19-2-8 に基づいて現時点での会計状況の説明があった。また、資料 19-2-9 に基づいて次年度

への引継ぎ事項の紹介があった。さらに、資料 19-2-10 に基づいて優秀論文者賞の提案があり、これを承認した。

2) 第 43 回地盤工学研究発表会 (広島大会)

平成 20 年 7 月 9 日～11 日に開催する予定であることが報告された。

3) 第 44 回地盤工学研究発表会 (関東大会: 21 年度)

平成 21 年 7 月 21 日 (火)～23 日 (木) の日程でパシフィコ横浜を仮押さえしたことが報告された。会場費がかさむことを考慮すると、発表会は大学で開催した方がよいのではないかという意見があり、会場に関する検討をお願いすることとした。

2. 情報関係

1) 電子図書室のシステムについて

標記について資料 19-2-11 に基づき説明があり、同システムのリース料・保守費の面倒を、総務部から調査・研究部に移したいという要望があることが紹介された。費用は受益者負担を原則とすること、持続可能なシステムとしておくこと、以上の考え方をもとに、システム利用の一部有料化について情報 WG で検討願うこととした。

【報告事項】

. 行事情報委員会関係

1. 地盤工学シンポジウムのプログラム

標記について資料 19-2-15 に基づき報告があった。

2. 新潟県中越地震調査委員会報告会の開催報告

標記について資料 19-2-13 に基づき報告があった。なお、報告書の残部は支部が引き取ることになっているという説明があった。

以上